



どうし ひていけいき 動詞の否定継起形「～なくて」

どうし きほんこうぞう
P39 動詞の基本構造を
参照しながら進めてください。

この課では「食べなくて」「歌わなくて」「行かなくて」など、^{どうし ひてい}動詞の否定しながら続ける形（^{ひていけいき}否定継起形）を学びます。

ポイント

- ^{どうし ひていけいき}動詞の否定継起形「～なくて」は、^{ごき がた ひていけいきせつじ}語基A型に、否定継起接辞 $-(r)adana^1$ が付く。
- ^{ぼいん}母音で終わる語基のとき否定継起接辞は $-radana$ で、
^{しいん}子音で終わる語基のとき否定継起接辞は $-adana$ となる。

ひていけいきけい 1. 否定継起形「～なくて」

^{ひていけいきせつじ}否定継起接辞 $-(r)adana$ は、^{ごき がた}語基A型に接続します。^{ごき}語基が母音で終わる場合には $-radana$ 、^{ごき}語基が子音で終わる場合には $-adana$ を付けます。

例えば「^よ呼ぶ」という動詞の場合、^{きほんごこん}基本語根（^{ごき}語基A型）の ^あ abi^2 （^{ぼいん}母音終わり）に否定継起接辞 $-radana$ を付けて ^あ $abi-radana$ 「^よ呼ばなくて」となります。「^{どうし}待つ」という動詞の場合、^{きほんごこん}基本語根の ^ま mat （^{しいん}子音終わり）に否定継起接辞 $-adana$ を付けて ^ま $mat-adana$ 「^{また}待たなくて」となります。

	^{きほんごこん} 基本語根（ ^{ごき} 語基A型）		^{ひていけいき} 否定継起形 「～なくて」
^{ぼいん} 母音終わり	^あ abi 「 ^よ 呼ぶ」	→	^あ $abi-radana$ 「 ^よ 呼ばなくて」
	^く $kuri$ 「 ^{くれ} くれる・ ^あ あげる」	→	^く $kuri-radana$ 「 ^{くれ} くれなくて」
^{しいん} 子音終わり	^は hak 「 ^か 書く」	→	^は $hak-adana$ 「 ^か 書かなくて」
	^ま mat 「 ^た 待つ」	→	^ま $mat-adana$ 「 ^た 待たなくて」

1 - は接辞のマークです。

2 語根だけの形を、ななめ文字で表します。^{ごこん}語根だけでは単語は成り立ちません。



発音してみよう！

「～なくて、～なくて…」と文を続ける形は、日常会話でよく使うほか、この後出てくる否定過去形「～なかった」を理解する上でも重要です。いろいろな動詞で、実際に発音してみましょう。

あ び ら だ な
abi -radana
呼ぶ - 否定継起
よ
「呼ばなくて」

な さ だ な
nas -adana
産む - 否定継起
「産まなくて」

し な だ な
sin -adana³
死ぬ - 否定継起
「死ななくて」

は か だ な
hak -adana
書く - 否定継起
「書かなくて」

ま た だ な
mat -adana
待つ - 否定継起
「待たなくて」

う い が だ な
uig -adana
泳ぐ - 否定継起
「泳がなくて」

か ま だ な
kam -adana
食べる - 否定継起
「食べなくて」

あ し ば だ な
asib -adana
遊ぶ - 否定継起
「遊ばなくて」

3 「しにやだな」という地域もあるようです。

練習問題

次の動詞の否定継起形「～なくて」を予想して書いてみましょう。

(1) **nibu** 「眠る」 → () 「眠らなくて」

(2) **furus** 「殺す」 → () 「殺さなくて」

(3) **ak** 「歩く」 → () 「歩かなくて」

(4) **tat** 「立つ」 → () 「立たなくて」

(5) **fug**⁴ 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こがなくて」

(6) **num** 「飲む」 → () 「飲まなくて」

(7) **tub** 「飛ぶ」 → () 「飛ばなくて」

4 fuig, fuugという地域もあるようです。

